

A close-up photograph of a lion's face, focusing on its eyes and nose. The lion's fur is a mix of light and dark brown. The text is overlaid in the upper half of the image.

シンリンオオカミの 出産に至らなかった 妊娠兆候について

札幌市円山動物園
弓山 良

個体紹介

キナコ



出生日 2000年4月12日 9歳
(到津遊園 現:到津の森公園生まれ)

来園日 2002年12月19日

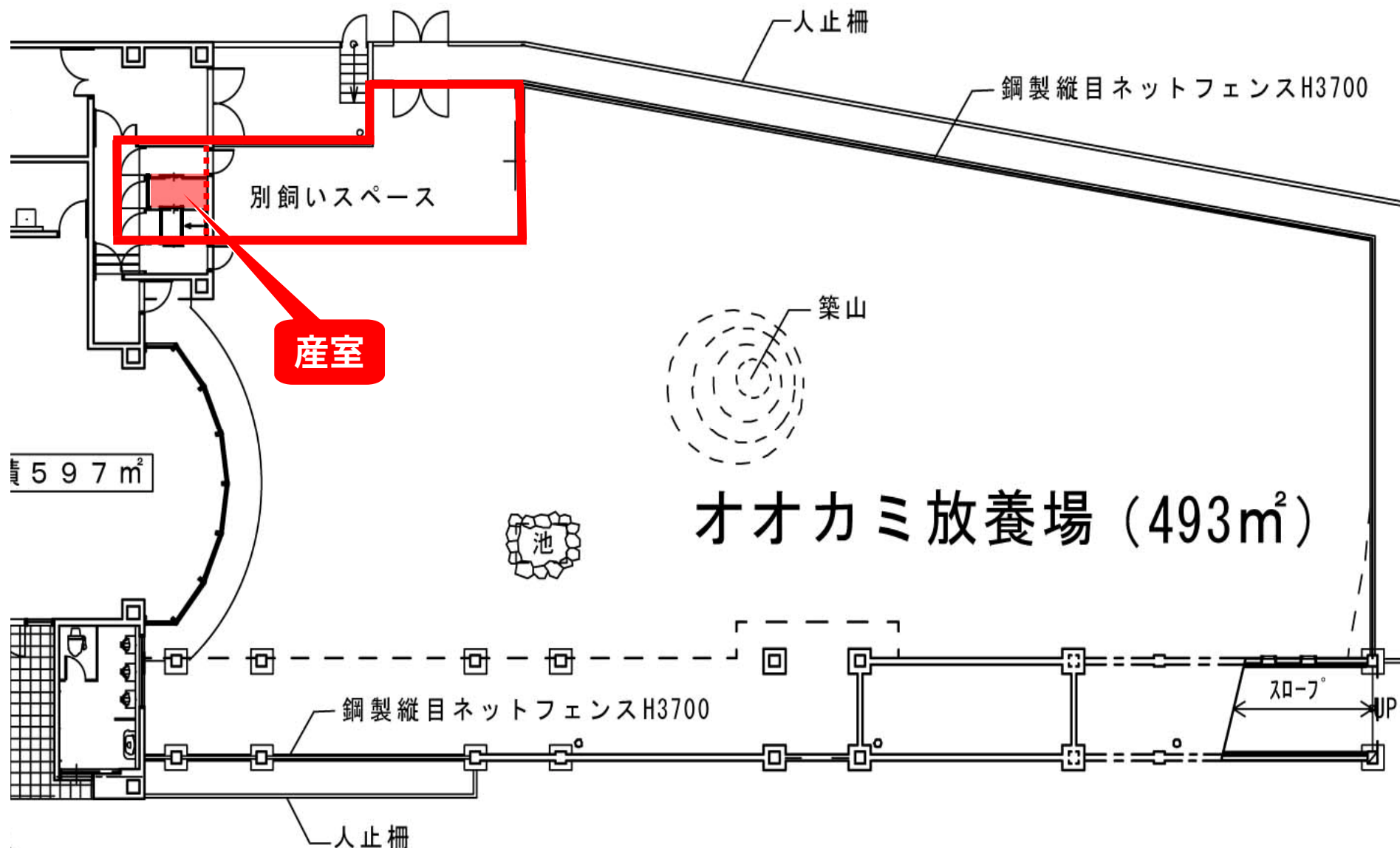
ジェイ



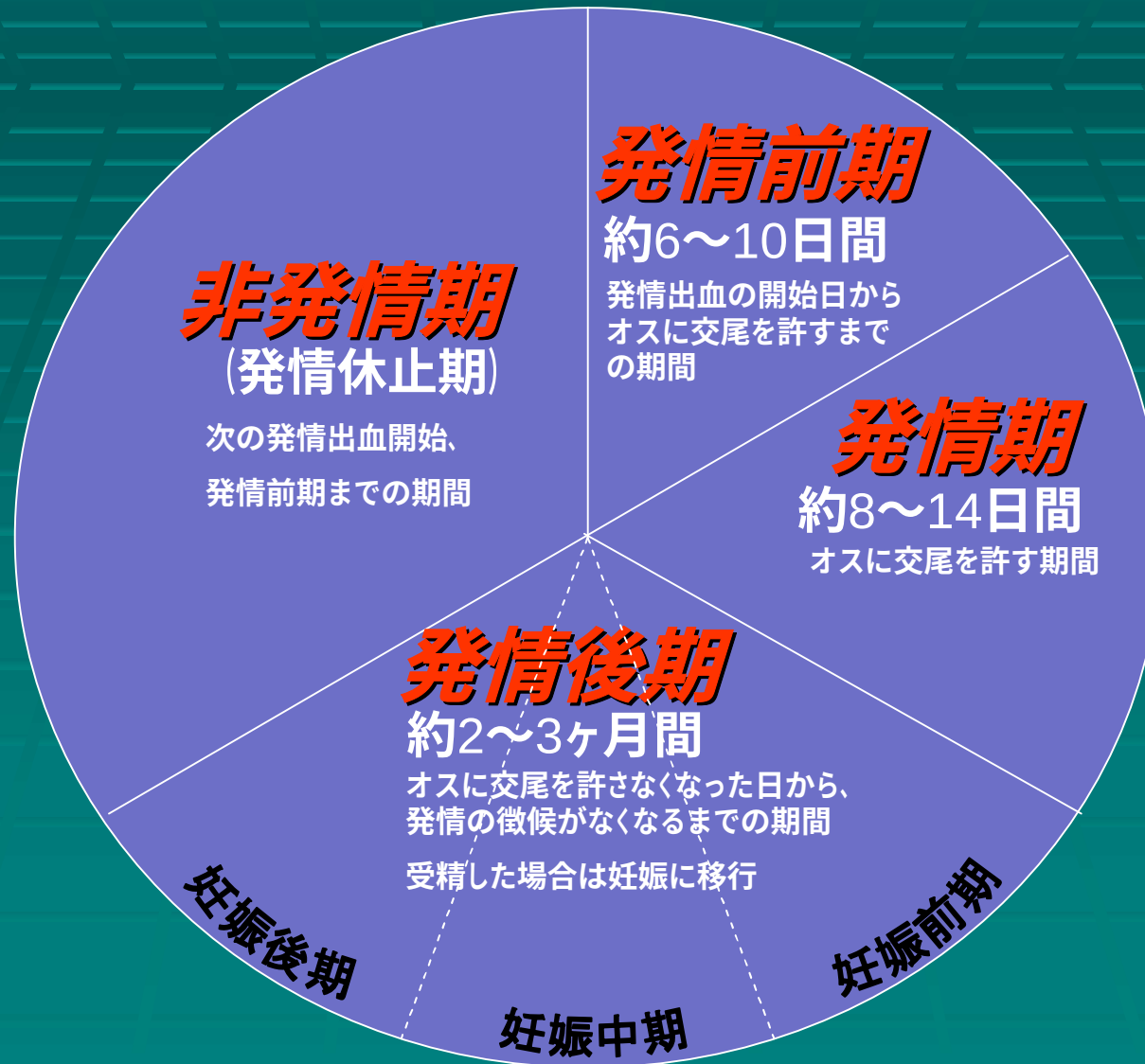
出生日 2005年4月25日 4歳
(富山市ファミリーパーク生まれ)

来園日 2008年7月29日
(群馬サファリパークから)

エゾシカ・オオカミ舎 オオカミ放養場



一般的なイヌ(メス)の発情周期



発情前期～発情期

一般的なイヌ(メス)の発情行動

発情出血開始

- ・発情出血
- ・マーキング行動
- ・オスを受け入れない

約10日間

発情前期

18日目

- ・交尾をする期間
- ・交尾を促す行動
 - ① 尾の旗振りあるいはフラッキング
 - ② マーキング

発情期

- ・発情出血
- ・陰部の変化
- ・マーキング
- ・オスを受け入れない

- ・2月13日発情開始
- ・交尾を促す行動
 - ① 自ら近寄り陰部を押し付ける行動
 - ② マーキング
 - ③ フラッキング

キナコの発情行動

発情出血



発情期

一般的なイヌ(メス)の発情行動

- ・落ち着きがなくなる
- ・神経質になる
- ・食欲減退
- ・排尿回数増加
- ・交尾を促す行動
 - ①オスが陰部のニオイを嗅ぐ
 - ②尻尾を横に倒し陰部を上げる
- ・交尾(主導権はメスにあり)

発情期

発情期

約2週間

28日間

- ・落ち着きがなくなる
- ・食欲減退
- ・排尿回数増加
- ・第一交尾期(2月20日～24日)
- ・第二交尾期(3月1日～7日)
- ・交尾を促す行動
 - ①排尿後ニオイを撒き散らす
 - ②ジェイの後を追いつまると前に立つ
 - ③ジェイに陰部を近づける

キナコの発情行動

交尾を促す行動！



交尾を促す行動Ⅱ



交尾 2/20~24 3/1~7



発情後期Ⅰ・Ⅱ 妊娠前期～中期

最終交尾日

一般的なイヌ(メス)の妊娠兆候

- ・不安定な時期
- ・受精卵が子宮に着床
- ・つわり(食欲不振・嘔吐など)

1~3週間

発情後期Ⅰ 妊娠前期

- ・座っている事が多くなる
- ・食欲不振
- ・単独行動
- ・巣穴を掘る

- ・排尿の回数が増える
- ・乳腺が張る
- ・お腹も膨らみ始める
- ・動きが鈍くなる

4~6週間

発情後期Ⅱ 妊娠中期

- ・座っている事が多い
- ・食欲良好
- ・巣穴を掘る
- ・ジェイとの距離が縮まる
- ・お腹も膨らみ始める

3月 8日(1日目)産室内モニター配線工事

3月 9日(2日目)産室製作開始

3月18日(11日目)産室完成

3月19日(12日目)産室内カメラ設置

キナコの妊娠兆候

発情後期 | 妊娠前期



発情後期 II 妊娠中期



発情後期III 妊娠後期7~9週

一般的なイヌ(メス)の妊娠兆候

- ・お腹がかなり膨らんでくる
- ・食欲がなくなる
- ・乳腺が張ってくる
- ・出産日前には体温が下がる
- ・落ち着きがなくなる
- ・出産直前は平熱に戻る
- ・巣穴を掘る(複数)
- ・出産

→ 7~9週間

発情後期III 妊娠後期

- ・腹部及び周辺の変化
- ・食欲減(出産予定日前)
- ・巣穴の確認・乳頭の変化
- ・巣穴を掘る(6カ所)
- ・食欲増(出産予定日後)
- ・落ち着きがなくなる
- ・産室滞在時間増
- ・軽い陣痛

キナコの妊娠兆候

- ・レントゲン検査実施
- ・診断結果は妊娠はなし
- ・同居

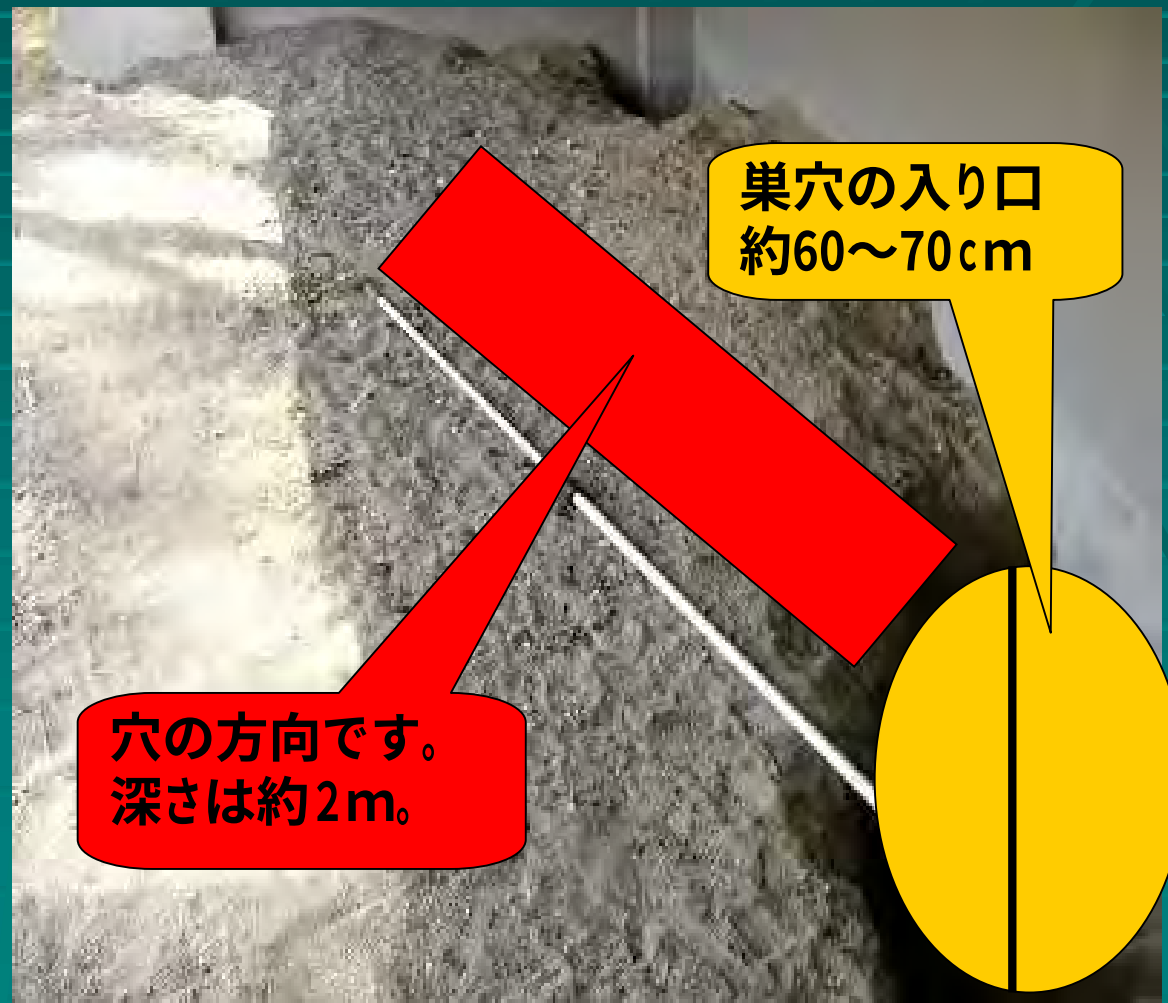
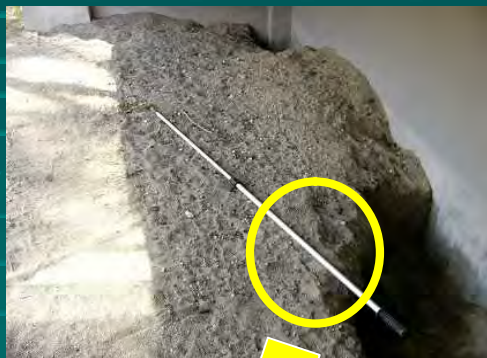
巢穴

昨年12月

4月23日(47日目)



巣穴の大きさ



巣穴の入り口
約60~70cm

穴の方向です。
深さは約2m。

巣穴の場所



● 巣穴の位置



お腹の膨らみ I

5月2日(56日目)



5月8日(62日目)



5月12日(66日目)



5月15日(69日目)



5月17日(71日目)



お腹の膨らみⅡ

5月20日(74日目)



5月21日(75日目)



5月23日(77日目)



5月27日(81日目)



乳頭周辺の変化 I

5月2日(56日目)



5月12日(66日目)



5月14日(68日目)



5月15日(69日目)

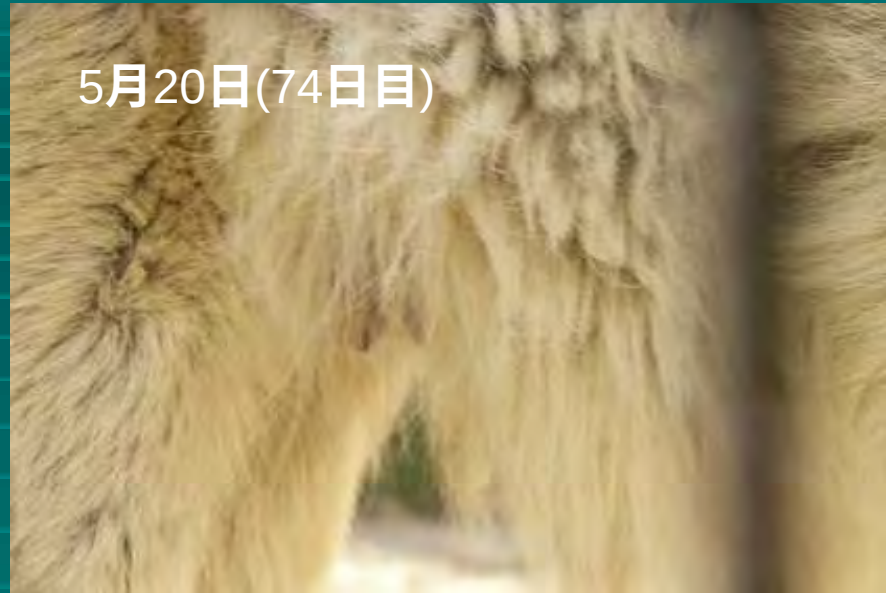


乳頭周辺の変化 II

5月17日(71日目)



5月20日(74日目)



5月22日(76日目)



5月23日(77日目)



同居後

- ・同居後の2頭の様子
- ・発情前の状態に戻った
- ・腹部及び周辺の変化
- ・巣穴の出入り
- ・腹部の変化
- ・換毛開始



まとめ

これまでの妊娠兆候が見られながら結果として妊娠していなかった。



今回については偽妊娠であったと思われる。

偽妊娠とは・・・

- ・発情終了後に交尾の有無にかかわらず、妊娠と同じような行動を示す
- ・妊娠期間と同じほど続くが、その期間を過ぎると出産せず普通の状態に戻る

偽妊娠のメカニズム

- ・排卵後、黄体が形成され、黄体ホルモンが分泌される
- ・黄体ホルモンが長い間分泌されることによって偽妊娠となる
- ・黄体ホルモンの量が多い場合は、偽妊娠も長くなる

偽妊娠の原因

- ・初めて交尾をするメス個体。
- ・性成熟を迎えたばかりの若いオス個体との交尾。

今回の事例

キナコ♀：初めての交尾であった。

ジェイ♂：交尾経験がなく若い個体だった。

→偽妊娠が起こった原因と思われる。

来年について

今回の事例を参考にし、来年も繁殖を目指していきます。